

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 61

東北森林管理局

取組名	素材のシステム販売を活用した大口需要への対応（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代東部森林管理署
実施箇所及び実施日	実施箇所：米代東部森林管理署管内 実施日：7月～2月
取組の背景及び必要性	大口需要者から地域材の安定供給が求められている。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 これまでも素材の安定供給システムにより、合板工場や地元製材所と締結された販売協定に基づき、地域材の安定的・計画的な供給に努めている。</p> <p>【23年度の取組内容】 販売協定により6社に素材23,000 m<sup>3</sup>を供給する見込み。</p>
国有林担当部局・役割	米代東部森林管理署、販売課 地域材の安定的・計画的な供給
連携協働相手先・役割	合板工場、地元製材工場 地域材の利用促進
取組の結果、反響、今後の課題等	<p>素材のシステム販売については、東日本大震災により、合板業界も甚大な被害を受けた影響により、素材の需要量が減少しそれにともない供給量はやや減少したが、国有林材の計画的・安定的な素材の供給は図られた。</p> <p>今後も、大口需要等に対応できる安定供給体制が必要である。</p>
PRの実施状況及びその期待する効果	各種会議等において、国有林材の安定供給システム等の実施内容を紹介し、地域材の需要拡大に努めた。

【 参 考 資 料 】

取 組 名

素材のシステム販売を活用した大口需要への対応（継続）

○合板工場とシステム協定を結んだスギ間伐材



○システム販売されたスギ間伐材の積み込み



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 62

東北森林管理局

取組名	間伐材等木材利用のPR（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代東部森林管理署
実施箇所及び実施日	実施箇所：米代東部森林管理署管内 実施日：5月～12月
取組の背景及び必要性	間伐等による森林整備の促進により、木材供給量が増加していることから、国有林が率先し間伐材等の木材を使用するなど木材の需要拡大を図る必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 国有林野事業の治山・林道工事に間伐材等の木材を使用した工法を取り入れ木材のPRに努めている。</p> <p>【23年度の取組内容】 国有林野事業の治山・林道工事に間伐材等木材を使用した工法（治山ダム：存置型型枠工外、林道：木柵工外）を実施し、木材利用のPR及び施工技術の向上に努めた。 林道工事 6工事箇所 約 30 m<sup>3</sup>（丸太換算） 治山工事 3工事箇所 約 175 m<sup>3</sup>（ 〃 ）</p>
国有林担当部局・役割	米代東部森林管理署・局森林整備課・治山課 木材を利用した工法の発注、PR
連携協働相手先・役割	林道・治山工事受注業者 施工技術の向上
取組の結果、反響、今後の課題等	木材を使用した工法は、自然と調和し、入林者からの評判も良く、また、地域材の利用拡大が図られることから、継続した取組が求められている。 今後も景観・コスト等を考慮しながら木材を使用した工法を積極的に施工していく。
PRの実施状況及びその期待する効果	各種会議等で取組状況を紹介した。間伐材等木材を使用した施工技術の向上に貢献すると共に、国有林野事業への理解が深まった。

【 参 考 資 料 】

取 組 名	間伐材等木材利用の P R （ 継 続 ）
-------	-----------------------

○木柵による林道工事（東の又沢）



○存置型型枠工による治山工事（作沢ノ沢）



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 63

東北森林管理局

取組名	米代川流域における民・国連携強化(継続)
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代東部森林管理署
実施箇所及び実施日	普及啓発イベントに関する情報の共有 民国合同説明会・意見交換会(平成23年4月26日) 低質材利活用及び流域の原木安定確保の勉強会 (平成23年11月18日) 鹿角地方林業振興懇話会(平成24年2月12日)
取組の背景及び必要性	流域内の諸課題は流域活性化センターを中心に様々な取組が行われてきたところであるが、今後、森林・林業再生プランに沿って民有林と国有林の一層の連携が必要である。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】          米代川流域活性化協議会が行う、各種課題等への取組に対し、隣接署・センターとともに積極的に参画・協力をしている。</p> <p>【23年度の取組内容】          米代川流域活性化協議会が行う、民・国の施策・事業に関する説明会、低コスト施業の促進や秋田スギ素材供給体制の高度化に向けた各種課題への取組に対し、隣接署・センターとともに積極的に参画・協力した。</p>
国有林担当部局・役割	隣接署・センター 事業計画への参画、イベントに関する情報発信 低コスト施業、施業集約化等の検討に必要な情報提供等
連携協働相手先・役割	米代川流域活性化協議会員 取組の実践と関係機関との連絡調整
取組の結果、反響、今後の課題等	民国が連携した、説明会・意見交換会等を通じて、国有林の取組姿勢がより理解できるようになったとの評価を得ている。 今後も、民国の連携強化を図る必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	国有林が蓄積してきた技術・知見が、民有林へ波及することが期待できる。

【参考資料】

取 組 名 米代川流域における民・国連携強化(新規)

○米代川流域民有林国有林連携合同説明会・意見交換会



○鹿角地方林業振興懇話会



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 64

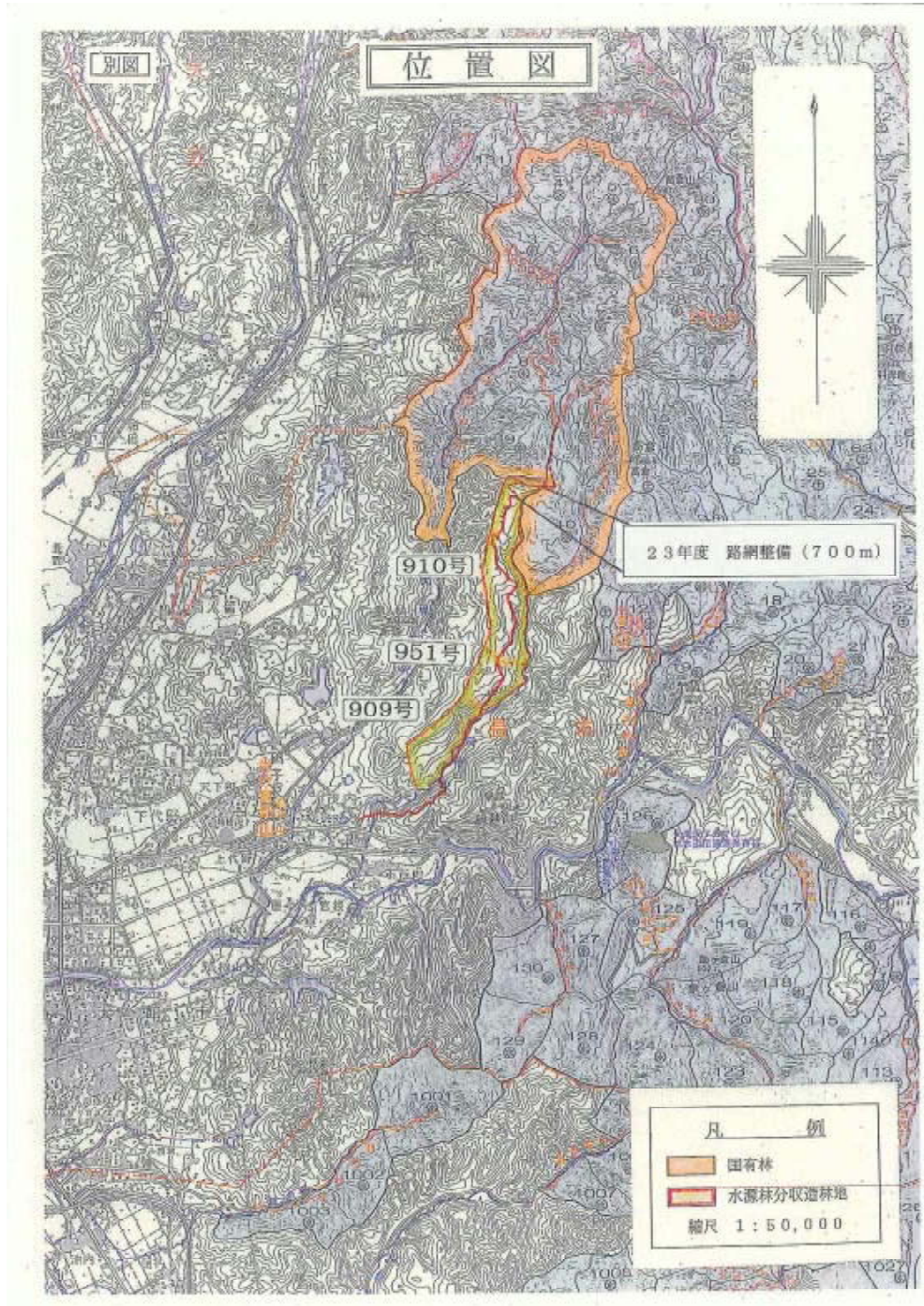
東北森林管理局

取組名	民・国連携による路網整備の推進（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代東部森林管理署
実施箇所及び実施日	実施箇所：大館市長木地域森林整備協定締結箇所 実施日：8月3日
取組の背景及び必要性	森林施業の集約化・低コスト化等を図るため、民有林・国有林の路網整備状況の情報交換を行い、民・国一体となった効率的な路網整備を推進する必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成23年3月16日に秋田水源林事務所、大館北秋田森林組合、当署の3者による大館市長木地域森林整備協定を締結するなど、路網整備の推進に努めている。</p> <p>【23年度の取組内容】 大館市長木地域森林整備協定に定めた、森林整備実施計画に基づき、23年度実施予定である森林作業道700mの線形等について、関係者と現地で協議した。</p>
国有林担当部局・役割	米代東部森林管理署 国有林との連結箇所等について協議
連携協働相手先・役割	大館市 森林作業道新設工事の調査設計・施工
取組の結果、反響、今後の課題等	年度内に、森林作業道新設工事を施行する予定であったが、調査設計までの実行となった。今後は、実施計画に基づき、確実に実行するよう取り組んでいきたい。
PRの実施状況及びその期待する効果	各種会議において情報提供しているところであり、今後、他地域へ波及することが期待される。

【参考資料】

取 組 名 民・国連携による路網整備の推進（継続）

○ 23年度実施予定路線（私有林分）





## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 65

東北森林管理局

取組名	民・国が連携した森林保全事業（治山工事）の実施
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代東部森林管理署
実施箇所及び実施日	実施箇所：米代東部森林管理署管内 実施日：6月～12月
取組の背景及び必要性	平成19年の豪雨災害により作沢ノ沢に転石が多数堆積し、下流域の田畑や民家等の危険が高まった。被害地域が民有林と国有林にまたがることから、下流住民等の安全・安心を図るため県と国とが調整を図り谷止工などを行うこととなった。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 秋田県、国有林など関係機関が現地調査や検討会を開催し、県と国とが調整を図り谷止工などを実施している。</p> <p>【23年度の取組内容】 県と国とが調整を図り 県：谷止工2基、床固工1基 国：床固工2基、護岸工63m を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	米代東部森林管理署、局治山課 事業計画の調整及び事業の実施
連携協働相手先・役割	秋田県、鹿角市 事業計画の調整及び事業の実施
取組の結果、反響、今後の課題等	県と国とが調整を図ることにより効率的な事業実行となっていることから、今後も県と調整を図りながら事業を実行する必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	県と国とが調整を図ることにより効率的な事業実行になり、下流住民等の安全・安心の確保が図られている。

【参考資料】

取 組 名 民・国が連携した森林保全事業（治山工事）の実施

○ 存置型型枠工による谷止工（作沢ノ沢）



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 66

東北森林管理局

取組名	植樹祭への参画（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代東部森林管理署
実施箇所及び実施日	実施箇所：大湯ストーンサークル 実施日：5月17日
取組の背景及び必要性	鹿角市で毎年開催される植樹祭に参画し、地域の森林・林業に対する理解を深める必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 行政及び民有林関係者が連携し毎年開催している植樹祭に参画し、一般市民、児童、生徒による植樹を実施。</p> <p>【23年度の取組内容】 植樹祭実行委員会へ参画するとともに植樹当日、一般市民及び小、中学生に植樹指導を実施した。 また、国際森林年記念植樹として実施された。</p>
国有林担当部局・役割	米代東部森林管理署 植樹祭実行委員会への参画、植樹指導
連携協働相手先・役割	鹿角市、鹿角市緑化推進委員会、鹿角地域振興局、鹿角森林組合 植樹祭の企画、会場準備、参加者の募集
取組の結果、反響、今後の課題等	緑化推進活動の一環として開催している植樹祭へは、地元小・中学生や一般市民など約200名が参加した。
PRの実施状況及びその期待する効果	多数の参加者が自ら植樹したことにより緑化意識の高揚が図られ、森林・林業への理解が醸成される。

【参考資料】

取組名 植樹祭への参画（継続）

○国際森林年記念植樹標柱の建立



○中学生による植樹



○秋田魁新報（23.5.22）

鹿角市植樹祭  
「大きく育てて」  
広葉樹200本を植える  
本年度の鹿角市植樹祭が17日、同市十和田大湯の国特別史跡・大湯環状列石の敷地内で開かれた。市内の小中学生や地元住民ら約200人が参加し、ブナなど広葉樹の苗木を植えた。



広葉樹の苗木200本を植えた植樹祭

はスコップやくわで穴を掘り、高さ2・5ほどに育ったブナやミズナラ、1材ほどのトチ、クリなど計200本を植えた。  
大湯小学校6年の榎並将太郎君（11）は「同じ学校の仲間と力を合わせ植樹した。大きく育ててほしい」と話していた。（下村直也）

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 67

東北森林管理局

取組名	小中学生のための森林環境教室と出前講座の開催（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代東部森林管理署
実施箇所及び実施日	<p>①鷹巣南小学校 実施箇所：秋田県北秋田市七日市 実施日：5月17日、11月7日、2月中（予定）</p> <p>②大湯小学校 実施箇所：秋田県鹿角市十和田大湯 実施日：10月25日</p>
取組の背景及び必要性	小・中学生を対象とした森林教室や林業体験学習への取組に対して地域からの要望がある。また、「開かれた国有林」として、国民の森林及び林業に対する理解と関心を深めることが必要である。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 総合的な学習時間等において、植林・育林体験、森林の管理の仕方、森林の働き、自然観察、木材の使われ方等を学ぶ森林教室を通じて森林環境教育を実施している。</p> <p>【23年度の取組内容】</p> <p>① 鷹巣南小5年生21名を対象に、5月はスギ50本の植え付けなど、11月は、5、6年生35名を対象に、これまで植林してきた林の枝打ちなどの指導を行った。また、2月には雪起こし等を予定している。</p> <p>② 大湯小5年生32名を対象に、植樹、自然観察などを、NPO法人と連携しながら指導した。</p>
国有林担当部局・役割	米代東部森林管理署、指導普及課 資材、教材の準備、植・育樹指導等
連携協働相手先・役割	① 鷹巣南小学校、北秋田地域振興局、地域住民、父兄②大湯小学校、ルート103委員会 日程調整、生徒引率、苗木の準備等
取組の結果、反響、今後の課題等	森林環境教育、林業体験等を通じて、森林に対する理解の増進が図られたほか、父兄等から反響も大きい。更なる内容の充実に努める必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	地元新聞への記事の掲載により、地域に対して国有林のPRに繋がっている。

【参考資料】

取組名 小中学生のための森林環境教室と出前講座の開催（継続）

○鷹巣南小生徒に育林教室



○平成23年5月19日付け北鹿新聞



○鷹巣南小生徒に枝打ちの指導



○平成23年11月8日付け北鹿新聞



○大湯小生徒に植樹指導



この日は、鷹巣南小の5年生が、環境教育の一環として、森林の大切さを学ぶため、大湯小学校で植樹指導を受けた。児童たちは、先生方の指導のもと、丁寧に植樹作業を行った。大湯小学校の校長は、「環境教育を通じて、子どもたちが自然の大切さを学び、環境保護の意識を高めることを期待している」と話した。

鷹巣南小の校長は、「森林は私たちの生活を支えている大切な資源です。子どもたちが森林の大切さを学び、環境保護の意識を高めることは、未来の世代にとって非常に重要です。今回の植樹活動を通じて、子どもたちが自然の大切さを学び、環境保護の意識を高めることを期待しています。」

大湯小学校の校長は、「環境教育を通じて、子どもたちが自然の大切さを学び、環境保護の意識を高めることは、未来の世代にとって非常に重要です。今回の植樹活動を通じて、子どもたちが自然の大切さを学び、環境保護の意識を高めることを期待しています。」

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 68

東北森林管理局

取組名	米代川流域における民国連携強化（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代東部森林管理署 上小阿仁支署
実施箇所及び実施日	平成23年 北秋田市阿仁地内
取組の背景及び必要性	森林共同施業団地設定・協定の締結に向け流域活性化センターを中心に民有林と国有林の一層の連携が必要である。
取組の内容	<p>【平成23年度の取組内容】</p> <p>5月・11月に秋田県、北秋田市、大館北秋田森林組合、古河林業(株)阿仁林業所、支署職員が参加し、北秋田市阿仁地内の森林共同施業団地設定予定箇所の協定内容や路網設定について協議をおこなった。（次回3月協議予定）</p>
国有林担当部局・役割	上小阿仁支署 森林共同施業団地設定に必要なフィールドの提供
連携協働相手先・役割	秋田県、北秋田市、大館北秋田森林組合、古河林業(株)阿仁林業所 取組の実践と関係機関との連絡調整
取組の結果、反響、今後の課題等	極力早期での協定締結を図り、その後、国有林内の路網設定について現地踏査や協議を進めていく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	米代川流域活性化センターを通じて、民国連携強化に向けた情報発信が積極的に行われている。 民・国が一体的、計画的に路網整備を行うことができ、施業コストの低減が図られる。

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 69

東北森林管理局

取組名	森吉山周辺高山植物保護啓発活動（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代東部森林管理署 上小阿仁支署
実施箇所及び実施日	北秋田市森吉山周辺（旧森吉町、旧阿仁町）2箇所で開催 平成23年6月18日（土）
取組の背景及び必要性	高山植物の保護及び盗採を防ぐとともに、高山植物保護啓発活動の推進と林野巡視の強化を図る。
取組の内容	<p>【平成23年度の取組内容】</p> <p>森吉山周辺は登山者及び森林浴等による入山者が多く、高山植物への関心が高い地域であり、高山植物の保護啓発に係る巡視や取り締まりの強化を図るため、入山者へチラシを配布しマナー向上の呼びかけを実施した。</p> <p>参加者は、北秋田警察署、秋田県自然保護課、北秋田市、県立自然公園森吉山を美しくする会、森林ボランティア、支署職員の20名で実施。</p>
国有林担当部局・役割	上小阿仁支署 関係機関との連絡調整
連携協働相手先・役割	北秋田警察署、秋田県自然保護課、北秋田市、県立自然公園森吉山を美しくする会、森林ボランティア チラシ配布
取組の結果、反響、今後の課題等	平成23年6月20日秋北新聞に掲載 関係機関と連携し継続した取組が必要
PRの実施状況及びその期待する効果	事前にマスコミへプレスリリースを実施 国有林において森吉山周辺の管理と森林の生態系保護に係わっていることを広く一般の方へ周知できる。



【 参 考 資 料 】

取 組 名	森吉山周辺高山植物保護啓発活動
-------	-----------------

○開会挨拶の風景



○啓発活動の風景（森吉）



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 70

東北森林管理局

取組名	計画的な木材供給の推進（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代東部森林管理署 上小阿仁支署
実施箇所及び実施日	システム販売3回実施：秋田プライウッド㈱、新秋木工業㈱、東北木材㈱、（有）門脇木材 委託販売3回実施：秋田県森林組合連合会、秋田県銘木センター
取組の背景及び必要性	間伐等森林整備事業により生産される国有林材を計画的に供給することにより、地域における木材産業のニーズに応えるとともに、中核的な素材生産・流通・製材の担い手の育成を図ることにより、流域の森林・林業・木材産業の活性化を図る。
取組の内容	<p>【平成23年度の取組内容】</p> <p>平成23年度（販売量）については、上小阿仁支署管内の間伐等森林整備事業により、以下のとおり国有林材の供給を実施した。</p> <p>システム販売 9,008 m<sup>3</sup>（合板工場、製材工場への供給） 委託販売 26,898 m<sup>3</sup>（県森連等を通じた供給）</p> <p>特に、今年度は東日本大震災により太平洋側の合板工場や製紙工場が被災したことを踏まえ、地域の需要に応じた素材・丸太の生産に取り組んだ。</p>
	<p>国有林担当部局・役割</p> <p>上小阿仁支署：（システム・委託）販売計画に基づく素材の供給 局 販売課：安定供給システム販売公告、業界紙等へ情報提供</p>
	<p>連携協働相手先・役割</p> <p>一定要件を満たす工場等（協定・契約）締結者は、計画的に木材供給されていることを需要者にPRする。</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	
PRの実施状況及びその期待する効果	業界紙等への情報提供、HP 国有林材を計画的に供給することにより、流域の森林・林業・木材産業の活性化に資することができる。

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 71

東北森林管理局

取組名	間伐の推進と木材利用の促進（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代西部森林管理署
実施箇所及び実施日	米代西部森林管理署管内 平成23年度
取組の背景及び必要性	間伐対象林分の資源が充実してきている中で、健全な森林の育成につながる間伐の推進と木材利用の促進が課題となっている。また、木質バイオマスのPR不足が懸念される。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林吸収源対策等間伐推進 健全な森林育成のため、第三次国有林野施業実施計画に基づき、平成23年度伐採予定箇所を計画どおり実施した。</li> <li>○小径木等間伐材の安定供給 平成23年度生産請負箇所から搬出された若齢小径木の間伐材について、安定供給システム販売により合板・集成材工場向けに供給を行った。</li> <li>○各種工事での木材利用促進 治山・林道工事で木材の利用を促進するため、設計段階で木材利用についての指示・指導を行った。</li> <li>○木質バイオマスPR 当署署長室にペレットストーブを設置し、来客者に木質バイオマスのPRを行った。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 他の森林管理署との連携・HPによるペレットストーブのPR
連携協働相手先・役割	工事施工業者 積極的な木材の利用促進
取組の結果、反響、今後の課題等	・平成23年度は計画どおりの間伐を実施したものの、木材利用を促進するためには、継続して小径木等の間伐材の利用拡大を推進する必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	・ペレットストーブなど木質バイオマスに係るPRを行っているものの、署HPの閲覧者数が定かでなく関心度は把握できていない。しかし、化石燃料の高騰や電気節約などによる木材利用の必要性が高まりつつある中で、引き続きPRに努めたい。



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 72

東北森林管理局

取組名	「風の松原」で地域と連携した松くい虫被害対策の実施（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代西部森林管理署
実施箇所及び実施日	能代市後谷地国有林 155 林班外 通称「風の松原」 平成23年4月24日（木）ボランティア大会 平成23年7月3日（日）～9日（土）薬剤散布
取組の背景及び必要性	歴史ある海岸防災林「風の松原」を松くい虫被害から守ろうという地域の意識が高い。
取組の内容	<p>○関係団体と連携したボランティア大会の実施 4月24日（木）に県や市、ボランティア団体と連携して約750名の参加により松くい虫被害を伝播するマツノマダラカミキリが産卵する松枝の集積を行い、集積した松枝はバイオマス発電に利用した。</p> <p>○松くい虫防除作業の実施 秋田県山本地域振興局、能代市と連携を図り、同一時期に一斉防除（薬剤散布）を実施した。実施にあたっては、市の広報誌を活用したほか周辺自治会へのチラシ配布などにより周知を図った。</p>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 秋田県山本地域振興局、能代市、ボランティア団体と連携した松くい虫防除対策の実施・市民ボランティア大会の支援
連携協働相手先・役割	秋田県山本地域振興局、能代市、ボランティア団体 森林管理署と連携した取組
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア大会を含め、地元紙では「風の松原」に係る特集も組まれるなど市民の関心の高さを知ることができる。</li> <li>・薬剤散布については地元の理解が得られており、防除の継続についても要望が出ている。</li> </ul>
PRの実施状況及びその期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元紙などへの掲載により、さらに多くの住民が、「風の松原」に関心を持ち、ボランティアの充実が図られることを期待したい。</li> </ul>

【参考資料】

取組名 「風の松原」で地域と連携した松食い虫被害対策の実施（継続）

○関係団体と連携したボランティア大会の実施



○松くい虫防除作業の実施



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 73

東北森林管理局

取組名	市民との連携による「風の松原」の保全活動（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代西部森林管理署
実施箇所及び実施日	能代市後谷地国有林 155 林班外 通称「風の松原」 平成23年4月24日（木）ボランティア大会 平成23年10月19日（水）林内状況調査
取組の背景及び必要性	「風の松原」は市街地に隣接しており、健康づくりの場や癒しの場として多くの方から利用されている。そのため、より快適な利用につながるよう、市民ボランティアと連携して保全管理を実施していく。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県や市、ボランティア団体と連携してボランティア大会の活動の一環として林内の清掃活動を行った。</li> <li>また、遊歩道上に落ちた枯れ枝についても集積して木質バイオマス発電に利用した。</li> <li>・ 今後の保全活動に役立てるため、署フォレストボランティアと連携して林内状況調査を行った。調査では、クロマツへのツル絡みが顕著な箇所について、次年度以降にツル切り作業を実施することとした。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 市民ボランティアと連携した取組の実施
連携協働相手先・役割	能代市、市民ボランティア、署フォレストボランティア 署と連携して保全管理活動を実施
取組の結果、反響、今後の課題等	・ 後谷地国有林は大半が「森林と人との共生林」に機能類型区分されており、快適に利用してもらうためには今後もクリーンアップをはじめとした活動が必要。
PRの実施状況及びその期待する効果	・ 国民の森林クリーンアップ月間において実施した活動を地元紙へ掲載してもらい、森林の重要性を一般の方々から再認識してもらう。

【参考資料】

取 組 名 市民との連携による「風の松原」の保全活動（継続）

○林内清掃活動の様子



○枯れ枝などを集積して木質バイオマス発電に活用



○ツル絡みが顕著な箇所などについて調査





## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 74

東北森林管理局

取組名	フォレストボランティアと連携した登山道整備（新規）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代西部森林管理署
実施箇所及び実施日	八峰町・藤里町鹿瀬内沢国有林1019林班 二ツ森登山道 平成23年10月25日（火）
取組の背景及び必要性	白神山地世界遺産地域内の二ツ森は登山者が多いが、歩道脇からの灌木の侵入が多く歩行の妨げとなるところもあることから、歩道に被さっている立木の枝の除去等を行い安全を図る。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・署OBを主体とするフォレストボランティアと署職員が連携して、二ツ森駐車場から二ツ森山頂にかけての歩道に覆い被さっている木の枝と笹を、剪定ばさみにより除去した。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 歩道状況の把握と歩道施設の維持管理
連携協働相手先・役割	フォレストボランティア 施設の維持修繕
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの登山者が訪れる二ツ森について、作業終了後の入山者から、「歩道も気持ちもすっきりだった。」という声が寄せられた。</li> <li>・引き続き歩道の状況把握に努めたい。</li> </ul>
PRの実施状況及びその期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で快適に登山ができる環境を作ることにより、白神山地世界遺産地域を身近に感じてもらいたい。</li> </ul>

【 参 考 資 料 】

取 組 名	フォレストボランティアと連携した登山道整備（新規）
-------	---------------------------

○降雨の中、フォレストボランティアと連携して行った二ツ森登山道整備



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 75

東北森林管理局

取組名	関係機関と連携した白神山地の情報発信（継続）
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代西部森林管理署
実施箇所及び実施日	米代西部森林管理署ホームページ 平成23年度
取組の背景及び必要性	広く一般市民から秋田県側白神山地へのアクセスについて問い合わせがあることから、県・市町と連携して情報を提供する。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今の登山ブームにより登山者が増え、管内の白神山地へアクセスする林道・県道・町道の問い合わせが多いことから関係する県・市町と連絡を取り道路状況を把握するようにした。また、取りまとめた情報を当署ホームページへ掲載し、関連する市町村のホームページとリンクをさせ情報を共有することにより広く情報を提供した。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 国有林林道の状況把握と情報提供
連携協働相手先・役割	県・関係市町 県道、市町村道の状況把握と情報提供
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林道状況等の問い合わせがほとんど無い状況であり、ホームページへの掲載効果が続いていると思われる。今後についても、状況把握に努めながらホームページの更新を図りたい。</li> </ul>
PRの実施状況及びその期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市や町との連携により情報交換の機会が多くなった。</li> </ul>

【参考資料】

取 組 名 関係機関と連携した白神山地の情報発信（継続）

○署ホームページにより情報提供

山岳名	主な路線(管理主体)	道路状況
ニツ森	町道真淵線(八峰町)	通行可能
	広城基幹林道香秋線(八峰町)	通行可能
真淵岳	町道真淵線(八峰町)	通行可能
	真淵林道(米代西部森林管理署)	通行可能
	中の又林道(米代西部森林管理署)	通行可能
泊岳・金山	水沢山林道(八峰町)	高木の凹凸が激しいため、四輪駆動車のみ通行可能です。
長堀内岳	岳林道(米代西部森林管理署)	高木の凹凸が激しいため、四輪駆動車のみ通行可能です。
	四十八滝林道(米代西部森林管理署)	通行不能
小 岳	粕毛林道(米代西部森林管理署)	通行可能(一部通行止めです。)
	大滝林道(米代西部森林管理署)	通行可能(一部通行止めです。)
	小岳林道(米代西部森林管理署)	通行可能

※現在把握している状況ですので、通行の際は管理主体の方へ最新の情報をお問い合わせください。

**各路線の延長**

- 真淵岳**
  - 町道真淵線 6.1 Km
  - 広城基幹林道香秋線 12.7 Km
- ニツ森**
  - 町道真淵線 6.1 Km
  - 真淵林道 0.4 Km
  - 中の又林道 5.1 Km
- 泊岳**
  - 水沢山林道 7.2 Km
- 長堀内岳**
  - 岳林道 3.9 Km
  - 四十八滝林道 5.1 Km
- 小岳**
  - 粕毛林道 21.0 Km
  - 大滝林道 6.7 Km
  - 小岳林道 2.3 Km

大きな地図(JavaScript) (別画面で開きます)

**管理主体の連絡先と秋田県内の関連情報ホームページ** (各ページへジャンプします)

雄盛町	0185-79-2111(代表)	<a href="http://www.town.fujisato.akita.jp/">http://www.town.fujisato.akita.jp/</a>
八峰町	0185-76-2111(代表)	<a href="http://www.town.happo.akita.jp/index.php?ipofc">http://www.town.happo.akita.jp/index.php?ipofc</a>
雄代市	0185-89-2184(農林水産課)	<a href="http://www.city.noborio.akita.jp/index.html">http://www.city.noborio.akita.jp/index.html</a>
東北森林管理局	018-436-2014(受付案内)	<a href="http://www.shirakami.go.jp/index.html">http://www.shirakami.go.jp/index.html</a>
(白神情報センター)		
雄盛森林センター	0185-79-1003(代表)	<a href="http://www.niroya.maff.go.jp/tohoku/syo/sumesto/index.html">http://www.niroya.maff.go.jp/tohoku/syo/sumesto/index.html</a>
米代西部森林管理署	0185-54-5511(代表)	<a href="http://www.niroya.maff.go.jp/tohoku/syo/sonesiroseibu/index.html">http://www.niroya.maff.go.jp/tohoku/syo/sonesiroseibu/index.html</a> (トップページへ戻ります)

— お問い合わせ先 —

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 76

東北森林管理局

取組名	治山施設のPRと除伐体験による森林整備体験の実施(継続)
流域名	米代川流域
森林管理署名	米代西部森林管理署
実施箇所及び実施日	能代市大開浜国有林153林班 平成23年7月20日(水) インターンシップ・高校生 平成23年8月30日(火) インターンシップ・大学生 平成23年9月14日(水) 外部来客者 平成23年10月12日(水) 海外技術研修
取組の背景及び必要性	治山施設により市民の暮らしが守られていることをPRし治山事業の必要性を伝える。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度当署において行ったインターンシップ2回と外部海岸林視察者、さらには海外技術研修生に対し、消波ブロックや海岸林へのクロマツ植栽状況について状況説明を行いながら治山事業への理解を深めた。</li> <li>なお、当初予定していた小学生等を対象にした除伐による森林整備体験については実施できなかった。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	米代西部森林管理署 海岸防災林造成事業のPR
連携協働相手先・役割	秋田県・各市町村・局総務課 森林教室及び各種研修における治山事業PR機会の設定
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に海岸で風を感じるにより、海岸林の必要性を感じさせることができた。</li> <li>・森林整備体験については、年度前に小学校等に対して意向把握をするなどの対応が必要と思われる。</li> </ul>
PRの実施状況及びその期待する効果	・海岸林の必要性について強く関心のある地域であり、地元住民へのPRにより今後の事業への理解度が深まる。

【参考資料】

取 組 名 | 治山施設のPRと除伐体験による森林整備体験の実施(継続)

○海外技術研修において海岸防災林についても説明



○外部来客者に対し海岸防災林について説明

